

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業 実施状況及び効果検証

| No. | 交付対象事業の名称 | 事業の概要 ①目的 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 所管課 | 所管係 | 単 独 ・ 補 助 | 事業 始 期 | 事業 終 期 | 総事業費 (実績額) (千円) | 臨時交付 金 充当経費 (千円) | 事業の実施状況・実績 | 事業の効果検証 (成果・効果) | 備考 |
|-----|-------------------|---|-------|------------|-----------------------|--------------|--------------|-----------------------|---------------------------|--|--|----------|
| 1 | 感染症拡大防止事業 | ①公共施設内での新型コロナウイルス感染まん延予防と防止のために必要な資材を購入することで、感染対策の徹底を図る。 ②感染対策のための資材購入に係る経費を対象とする。 ③地方公共団体 | 総務課 | 庶務係 | 単 独 | R4.4 | R5.3 | 1,950 | 1,950 | ○消耗品1,950千円(消毒液、マスク、手袋、アクリル板、抗原検査キット) | 新型コロナウイルス感染症の感染者の疑いがある職員等に対して、医療機関等が休診である時間帯においても、迅速に簡易鑑定を行い、就業可否の判断を速やかに行うことで、事業継続性を高めるとともに、町民の安全安心の確保にもつなげることができた。 | |
| 2 | 町税コンビニ・モバイル収納導入事業 | ①町税納付手段について、コンビニ店舗での納付、スマホQR決済を導入することにより、納税者の利便性向上とキャッシュレス化を推進し、相対での接触機会の削減により新型コロナウイルス感染拡大防止を図る。 ②委託料 ③地方公共団体 | 税務会計課 | 税務係 | 単 独 | R4.4 | R5.2 | 10,640 | 10,640 | ○委託料10,640千円(システム改修+新納付書導入+収納代行事務導入) | 現年収納率の向上 現状：R2年度 97.1% 目標：R5年度 98.4% 実績：R5実績 98.5% 町税の納付方法の利便性向上により、収納率の向上につながった。 | 令和5年度終了時 |
| 3 | 保育園感染対策事業 | ①I除菌に係る資材を購入し保育園(町内4園)の室内外・備品等の除菌を定期的に行うことで清潔を保持し、新型コロナウイルス感染を予防する。 II降雪期における園児の屋内での活動場所として廊下やリズム室に暖房機器を備え付けることで3密を回避させ新型コロナウイルス感染を予防する。 III熱中症対策を兼ねたエアコン装置の整備を図り、室内換気を自動化し新型コロナウイルス感染を予防する。 ②I感染対策のための資材購入に係る経費を対象とする。 II、III委託料、工事請負費、備品購入 ③町内4保育園 | 教育委員会 | 子ども支援係 | 単 独 | R4.5 | R5.3 | 11,285 | 11,285 | ○I消耗品2,917千円(使い捨て手袋、マスク、アルコール手指消毒用、薬用石鹸等) II暖房機設置工883千円(柏原保育園1台、古間保育園2台) IIIエアコン設置工5,995千円(野尻保育園1台、柏原保育園5台、富士里保育園2台、古間保育園2台)、設計監理委託702千円、備品購入786千円(加湿空気清浄機8台) | 感染対策の徹底と環境の改善 ・保育園開設稼働率 95%以上 成果95% 目標 成果 ・消毒用消耗品、医薬材料 毎月購入 実施済 ・暖房機設置 12月上旬 導入12月 ・空調設備 11月末 導入11月 計画的な施設整備により感染対策が達成できた。 | |
| 4 | 信越病院事業会計繰出事業 | ①町立信越病院において、新型コロナウイルス感染症対策として、必要な病床の確保(感染疑い患者一時入院のための病床確保)と資材の購入や施設の整備にかかる経費を繰出し、医療提供体制の確保を図る。 ②信濃町立病院事業会計に繰り出し、コロナ禍における感染防止用の資材や診察環境整備に要する費用を交付対象経費とする。 ③信濃町立病院 施設利用者及び職員 | 信越病院 | 信越病院 | 単 独 | R4.4 | R5.3 | 39,642 | 39,642 | ○病床の確保2床×365日×29,500円/日=21,535千円 病院入口検温体制業務(4月～2月)700千円 備用品(手指消毒液、防護資材等)6,692千円、 診察用コンテナハウスリース(4月～3月)249千円、 検査室安全キャビネット導入721千円、 全自動化学発光酵素免疫測定装置導入8,745千円 | 目標は、感染疑い患者受入れ体制の確保と感染対策の徹底・強化を図ることで院内感染者ゼロを継続させる予定であったが、院内感染は発生してしまった。しかし、隔離病室を利用したことにより、感染を最小限にとどめることが出来た。 | |
| 5 | スポーツ合宿誘致事業 | ①新型コロナウイルス感染拡大の影響により団体の宿泊が大きく落ち込む中、町内の運動施設を使用してスポーツ合宿を行う団体へ宿泊料に対して補助を行い、合宿の費用負担を軽減することで誘致を促進し、地域の活性化を図る。 ②補助金 ③町内の運動施設を使用し、かつ町内の宿泊施設を利用する団体 | 産業観光課 | 商工観光・癒しの森係 | 単 独 | R4.4 | R5.3 | 1,747 | 1,747 | ○補助金31団体 計1,747千円 延べ3,999人 | ・合宿による延べ宿泊人数 目標3,000人 成果3,999人 コロナ感染の影響により減少していたスポーツ関連の宿泊者も補助を行うことにより、増加することが出来た。 | |
| 6 | 宿泊促進支援事業 | ①新型コロナウイルス感染拡大により減少した宿泊客を呼び戻すために宿泊割引キャンペーンを行うことで誘客の促進を図る。 ②補助金 ③町内宿泊事業者 | 産業観光課 | 商工観光・癒しの森係 | 単 独 | R4.5 | R4.11 | 27,679 | 8,779 | ○1泊1万円以上のプラン:割引額@2,000円×7,569人=15,138千円、1泊6千円以上1万円未満のプラン:割引額@1,500円×7,757人=11,635千円、1泊3千円以上6千円未満:割引額@500円×1,825人=913千円 | ・延べ宿泊人数 目標12,400人 成果17,151人 コロナ感染の影響により減少していた宿泊者も、割引キャンペーンを行うことにより増加することが出来た。 | |
| 7 | 地域振興商品券事業 | ①地域限定のプレミアム付商品券を発行することで、コロナ禍における原油価格・物価高騰等の影響を受ける生活者の支援を行い購買意欲を高め、経済的打撃を受けている事業者(飲食店、宿泊事業者、小売業等)の経営回復につなげる。 ・共通券 1冊13枚組(6,500円分)で5,000円(プレミアム率30%) ・飲食・宿泊限定券 1冊14枚組(7,000円分)で5,000円(プレミアム率40%) また、非課税世帯に共通券を1冊配付する。 ②補助金 ③生活者、事業者 | 産業観光課 | 商工観光・癒しの森係 | 単 独 | R4.4 | R5.3 | 32,007 | 32,007 | ○補助金31,467千円(共通券1,500円/冊×13,000冊=19,500千円、共通券(配付分)6,500円/冊×804冊=5,226千円、プレミアム分20,292千円(利用額89,062千円-販売額68,770千円)、飲食・宿泊限定券2,000円/冊×2,000冊=4,000千円プレミアム分3,831千円(利用額13,831千円-販売額10,000千円)、業務費用33,234千円 | ・商品券利用率 目標99% 成果97.8% 利用率の目標値は達成できなかったが、プレミアム付き商品券を発行し、町内の消費を喚起することで、町内事業者の売上げ増加を図ることが出来、流通した商品券により3,200万円以上の経済効果があった。 | |

| No. | 交付対象事業 の名称 | 事業の概要 ①目的 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 所管課 | 所管係 | 単 独 ・ 補 助 | 事業 始 期 | 事業 終 期 | 総事業費 (実績額) (千円) | 臨時交付 金 充当経費 (千円) | 事業の実施状況・実績 | 事業の効果検証 (成果・効果) | 備考 |
|-----|---------------------------------|---|-----------|--|-----------------------|--------------|--------------|-----------------------|---------------------------|--|---|----|
| 8 | 公衆トイレ手 洗器非接触化 事業 | ①安心安全な観光地として公衆トイレの手洗器を自動水栓に改修し、新型コロナウイルス感染の防止を図る。②工事請負費 ③町内公衆トイレ | 産業観光課 | 商工観光・ 癒しの森係 | 単 独 | R4.6 | R4.11 | 1,867 | 1,867 | ○工事請負費1,867千円(公衆トイレ11箇所) | 公衆トイレ年間利用者約5万人の感染を予防できた。 | |
| 9 | 3館を起点とし た誘客プロ モーション事 業 | ①町特有の野尻湖、黒姫高原等の観光資源を活用し、町有文化施設3館を起点とし、アフターコロナを見据えたPRを行い、町全体の観光産業の活性化を図る。 ②広告料 ③野尻湖ナウマンゾウ博物館、一茶記念館、黒姫童話館 | 教育委員 会 | 野尻湖ナウ マンゾウ博 物館、一茶 記念館、黒 姫童話館 | 単 独 | R4.4 | R4.11 | 3,647 | 3,647 | ○広告料(誌面広告2,455千円(21媒体)、Web広告1,192千円(4媒体)) | 多数媒体による広域的PRの実施 ・雑誌・フリーペーパー等 目標509千部以上 成果510千部 ・新聞紙面 目標839千部以上 成果900千部 ・SNS広告閲覧数 目標 32千回以上 成果 30千回 | |
| 10 | 観光PR動画 プロモーション事 業 | ①地方創生臨時交付金を活用して制作したPR動画をYoutube等の媒体で広告し、新型コロナウイルス感染拡大の影響により停滞した観光客の集客を促し、観光産業の活性化を図る。 ②広告料 ③地方公共団体 | 産業観光課 | 商工観光 癒しの森係 | 単 独 | R4.5 | R5.3 | 691 | 691 | 広告料691千円(年2回) | ・動画再生数 目標1,000回以上 成果1,900回 目標値以上の成果は達成できた。 | |
| 11 | YouTubeを活 用した情報発 信事業 | ①町特有の自然や食などの観光資源をYouTubeに取り上げてもらい、動画をアップロードすることで認知度の拡大と情報接触の機会を増加させ、新型コロナウイルス感染拡大によって停滞した町の観光産業の活性化を図る。 ②委託料 ③地方公共団体 | 産業観光課 | 商工観光・ 癒しの森係 | 単 独 | R4.7 | R5.3 | 984 | 984 | ○委託料(12節)984千円(2コンテンツ制作・動画配信委託) | ・動画再生数 目標1,000回以上 成果1,900回 目標値以上の成果は達成できた。 | |
| 12 | 安心安全な観 光地作りPR事 業 | ①新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少した観光客の誘客促進および町内滞在時間の拡大、消費額拡大を図る事を目的に観光振興策の一つとして、携帯電話を使ったスタンプラリー「デジタルスタンプラリー」を行う。 ②補助金 ③(一社)信州しなの町観光協会 | 産業観光課 | 商工観光・ 癒しの森係 | 単 独 | R3.4 | R4.3 | 1,576 | 1,576 | ○補助金1,576千円 | ・参加者 目標300人以上 成果940人 コロナ禍においても当町を訪れていた観光客に対して、デジタルスタンプラリーにより楽しんでいただくことができた。 | |
| 13 | 遠隔学習シ ステム事業 | ①コロナ禍における学びの保障及びGIGAスクール構想の推進に向け、小中学生の安心安全なオンライン学習支援のため、1人1台端末にフィルタリングソフトを整備する。 ②委託料 ③信濃小中学校 | 教育委員 会 | 総務教育 係 | 単 独 | R4.4 | R5.3 | 2,420 | 2,420 | ○委託料2,484千円 | 1人1台全タブレット端末へのフィルタリングソフトの導入したことにより、児童生徒の安心安全なインターネット接続環境が確保できた。 | |
| 14 | 通学バス増 車事業 | ①乗車人数が多く過密になっている通学バス路線の新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開窓による換気が困難な冬期間において、車内での3密を避けるための増車を行う。 ②バス借上料 ③信濃小中学校 | 教育委員 会 | 総務教育 係 | 単 独 | R4.10 | R5.3 | 533 | 533 | ○委託料2,972千円(バス借上げ22回(10月～3月の登校日に学校行事を勘案)) | バスを増車したことにより、乗車人数が多く過密になっている通学バス路線の新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開窓による換気が困難な冬期間において、車内での3密を避けることができた。 バスを感染源とする集団感染の発生を抑えることができた。 | |
| 15 | 学校保健特 別 対策事業費補 助金 | (学校等における感染症対策等支援事業) ①コロナ禍における小中学校の感染症予防等のために必要な対策を行う ②備品購入、消耗品(感染対策用品) ③信濃小中学校 | 教育委員 会 | 総務教育 係 | 補 助 | R4.4 | R5.3 | 2,105 | 1,040 | ○消耗品2,445千円(パーティションほか)、備品購入1,860千円(空気清浄機、モニター、プロジェクターほか) | 児童生徒・教職員の感染対策に必要な備消耗品の整備ができた。 特別支援学級用パーティション、高性能空気清浄機、大型ディスプレイ整備により距離を保ちながらの学習ができ、感染対策を行い授業が実施できた。 | |
| 16 | 地域振興商 品 券事業/第2 弾 | ①地域限定の商品券を全戸(世帯主)に配付する。コロナ禍の原油価格・物価高騰の影響を受けている消費者を支援するとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大により経済的打撃を受けている事業者の経営回復につなげる。商品券は1枚500円、1冊10枚組(5,000円分)を2冊(10,000円分)を配付する。 ②補助金 ③町内生活者、事業者 | 産業観光課 | 商工観光・ 癒しの森係 | 単 独 | R4.8 | R5.3 | 34,838 | 34,838 | ○補助金33,576千円、需用費(消耗品)印刷費、通信費運搬費1,262千円 給付世帯数3,307、使用枚数64,686枚 | 商品券加盟店(事業所)数 131店舗 ・商品券利用率 目標99% 成果98% 利用率の目標は達成できなかったが、商品券を配布したことにより町内の消費を喚起することで、町内事業者の売上げ増加を図ることができたと共に物価高騰の影響を受けている家計の負担軽減につながった。また、流通した商品券により3,200万円以上の経済効果があった。 | |

| No. | 交付対象事業の名称 | 事業の概要 ①目的 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 所管課 | 所管係 | 単独・補助 | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 (実績額) (千円) | 臨時交付 金 充当経費 (千円) | 事業の実施状況・実績 | 事業の効果検証 (成果・効果) | 備考 |
|-----|-------------------------------------|---|-------|----------|-------|----------|----------|-----------------------|---------------------------|--|--|----|
| 17 | 物価高騰生活支援事業 | ①コロナ禍における物価高騰等を踏まえた生活支援対策として非課税世帯の高齢者等に16,000円を支給する。 低所得者の生活資金として使途を限定せず金銭給付することにより生活者の実情に配慮した早期の活用が可能になる。 ②扶助費 ③住民税非課税世帯のうち、障害者、介護認定4以上、70歳以上高齢者、生活保護に該当する在宅者が属する世帯 | 住民福祉課 | 福祉・介護保険係 | 単独 | R4.6 | R4.11 | 10,392 | 10,392 | ○扶助費10,304千円(644世帯×16,000円) 需用費(消耗品)、通信運搬費88千円 | ・支給率 目標90%以上 成果100% ・物価高騰等による影響が特に大きい生活弱者(住民税非課税世帯のうち、障害者、介護認定4以上、70歳以上高齢者、生活保護に該当する在宅者が属する世帯)に現金給付することにより、速やかな支援を行うことができた。 | |
| 18 | 子育て世帯生活支援事業 (物価高騰分) | ①コロナ禍における物価高騰等を踏まえた生活支援対策として子育て世帯に児童一人あたり20,000円を支給する。子育て世帯の生活資金として使途を限定せず金銭給付することにより生活者の実情に配慮した早期の活用が可能になる。 ②扶助費 ③18歳未満の児童を養育する世帯 | 住民福祉課 | 福祉・介護保険係 | 単独 | R4.8 | R5.3 | 8,940 | 8,940 | ○扶助費17,040千円(852人×20,000円) 需用費(消耗品)、システム改修委託、料通信運搬費1,630千円 | 支給率 目標90%以上 成果98% ・物価高騰等の影響により家計が圧迫され、食材等の買い控えによる子どもの成長へ悪影響を防ぐことが、金銭給付により達成できた。 | |
| 19 | 子育て世帯生活支援事業 (事業No.18の通常交付金R3予算分) | 同上 | 同上 | 同上 | 単独 | R4.8 | R5.3 | 9,730 | 9,730 | 同上 | 同上 | |
| 20 | 文化芸術振興費補助金 | (文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業) ①博物館の来館者に安心して利用してもらえる環境を整備する(感染対策事業)。講演会等で会場に集まる人数を減らすため、配信システムを構築する(配信等環境整備委事業)。コロナ以前のような安心して学べる場を提供できるようなる。観光スポットでもあるため、観光地への誘客が期待できる。 ②需用費(消耗品費)、備品購入費、委託料、工事請負費 ③野尻湖ナウマンソウ博物館 | 教育委員会 | ナウマン象博物館 | 補助 | R4.9 | R5.1 | 1,079 | 431 | ○【感染対策】需用費109千円(消毒液、手袋等)、【配信等環境整備事業(配信等支援)】備品572千円(ビデオカメラほか)、需用費198千円(撮影用機器等)、【配信等環境整備事業(環境整備支援)】委託料110千円(システム構築)、工事請負費90千円(Wi-Fi工事) | ・入館者の前年度比 目標10%増 成果4%増 ・講演会等リモート参加者1回当たり 目標20名 成果100名 ・入館者の10%増の目標は達成できなかったが、入館者に安心して利用できる環境は提供できた。 ・講演会等のリモート参加者の成果は、日本考古学会の主催もあり多くの方々に参加いただいた。その際にはリモート用機材等の整備があったため、リハーサルを含め失敗等も無く遂行できた。 | |
| 21 | 文化芸術振興費補助金 | (文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業) ①黒姫童話館内においてガイドラインを踏まえた新型コロナウイルス感染防止対策を推進するため必要な資材を購入し、感染対策の徹底を図る。 ②需用費(消耗品費) ③黒姫童話館 | 教育委員会 | 黒姫童話館 | 補助 | R4.9 | R4.11 | 295 | 117 | ○【感染対策】需用費295千円(消毒液、手袋等) | ・施設利用者数前年度比 目標10%増 成果31%増 ・施設利用者に対し、安心して利用できる環境を整備したことをホームページ等で周知した結果、入館者増につながることができた。 | |
| 22 | 福祉事業者物価高騰対策支援事業 | ①コロナ禍における物価高騰に直面する福祉等事業者に対し、福祉事業者支援対策として福祉事業種別及び定員規模に応じた支援金を支給する。 施設等運営資金として使途を限定せず金銭給付することにより事業者の実情に配慮した早期の活用が可能になる。 ②補助金 ③介護及び障がい施設等(特養、グループホーム、短期入所、通所(介護・障害)、訪問(介護・看護)、居宅介護支援) | 住民福祉課 | 福祉・介護保険係 | 単独 | R4.11 | R5.2 | 1,169 | 1,169 | ○負担金補助 8事業所、事業所種別単価 ア)入所・居住系90千円×3事業所+加算4,500円×定員数92人=684千円 イ)通所系45千円×6事業所+加算1,500円×定員数97人=415千円 ウ)訪問系10千円×7事業所=70千円 | ・支給率100%を達成できた。 ・施設運営費として補助を行うことにより、事業者の実情に応じた運営を行うことができた。 | |
| 23 | 医療(歯科)機関物価高騰対策支援事業 | ①コロナ禍における物価高騰に直面する医療(歯科)機関に対し、光熱費等価格高騰分の一部を支援するため、一医院あたり45千円を支給することにより、医療の安定的なサービスの提供を支援することができる。 ②補助金 ③町内歯科医院 | 住民福祉課 | 予防係 | 単独 | R4.11 | R4.12 | 135 | 135 | ○負担金補助 45千円×3医院=135千円 | ・支給率100%を達成できた。 ・光熱費の補助を行うことにより安定的なサービスの提供ができた。 | |
| 24 | 畜産農家物価高騰対策支援事業 | ①コロナ禍における物価高騰に直面する畜産農家に対し、飼料価格高騰対策として、飼育牛1頭あたり10千円を支給する。 ②補助金 ③畜産業者 | 産業観光課 | 農林畜産係 | 単独 | R4.12 | R5.2 | 1,260 | 1,260 | 負担金補助 10千円×飼育頭数126頭=1,260千円 | ・支給率100%を達成できた。 ・飼料高騰対策として補助を行うことにより、安定した経営をすることができた。 | |

| No. | 交付対象事業 の名称 | 事業の概要 ①目的 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 所管課 | 所管係 | 単 独 ・ 補 助 | 事業 始 期 | 事業 終 期 | 総事業費 (実績額) (千円) | 臨時交付 金 充当経費 (千円) | 事業の実施状況・実績 | 事業の効果検証 (成果・効果) | 備考 |
|-----|---------------------------|--|-----------|----------------|-----------------------|--------------|--------------|-----------------------|---------------------------|---|--|----|
| 25 | 農家物価高騰 対策支援事業 | ①コロナ禍における物価高騰に直面する農家に対し、物価高騰対策として、肥料等の購入費用の一部を販売金額に応じて支給する。 ②負担金補助金、販売金額に応じて支給する。 ・10万円以上 50万円未満 10千円 ・50万円以上 200万円未満 20千円 ・200万円以上400万円未満 50千円 ・400万円以上600万円未満 80千円 ・600万円以上 100千円 需用費(消耗品)、役務費(通信運搬) ③農業所得の税申告者で、令和4年中の販売金額が10万円以上の者 | 産業観光 課 | 農林畜産 係 | 単 独 | R5.1 | R5.3 | 7,490 | 7,489 | ○需用費(事務用品) 負担金補助金、販売金額に応じたの支給 ・10万円以上 50万円未満 10千円×32人=320千円 ・50万円以上200万円未満 20千円×61人=1,220千円 ・200万円以上400万円未満 50千円×38人=1,900千円 ・400万円以上600万円未満 80千円×18人=1,440千円 ・600万円以上 100千円×26人=2,600千円 | ・支給率 目標90% 成果45% 支給率の目標値までは半分ほどの成果にとどまっていたが、肥料等の物価高騰に対し補助を行ったことにより安定経営を助成できた。 | |
| 26 | 原油価格・物 価高騰対策事 業者支援金 | ①コロナ禍における物価高騰に直面する事業者に対し、事業活動の経費負担が大きくなっており、冬期を迎え暖房費や除雪費など電気代、燃料代等の負担がさらに大きくなるため、事業者へ支援金を給付する。(個人:50千円、法人100千円) ②役務費(手数料)、補助金 ③町内事業者のうち中小企業 | 産業観光 課 | 商工観光・ 癒しの森係 | 単 独 | R4.11 | R5.1 | 20,909 | 20,909 | ○補助金20,900千円 個人 50千円×168件= 8,400千円 法人100千円×125件=12,500千円 役務費(新聞折込手数料) 9千円 | ・支援事業所数 目標:417件以上(80%) 成果:293件 (56.7%) 冬期を迎える前に事業者に補助を行ったことにより、燃料費等の物価上昇分を補えることができた。 | |
| 合計 | | | | | | | | 235,010 | 214,218 | | | |